

リニア岐阜県駅地域の現況

～リニア駅予定地の外形が徐々に姿を現わす～

コロナ禍で暫く訪問を手控えていたが、久しぶりにリニア岐阜県駅予定地を訪れた。リニア駅予定地付近は「工事の槌音」が響く現場となっていた。

1. 様変わりした中津川市千旦林地区

いつものように、国道19号（257号と重複区間）の中央道中津川インターから名古屋寄り最初の信号交差点を右折（旧中山道）すると、JR美乃坂本駅へ一本道で行くことができる。美乃坂本駅の前を通り過ぎ右折（県道410号）して、中央本線の踏切を渡ると、リニア岐阜県駅の工事現場となっていた。この辺りは県道沿いに10軒余の住宅があり、その奥は多くが田圃・畑となっているが、県道東側はフェンスで囲まれ、リニア駅建設現場となっていた。

報道によると、昨年11月10日岐阜県駅工事の起工式・安全祈願祭が予定されていたが、リニア瀬戸トンネル斜坑の落盤事故発生により延期された。その後の起工式執行は明らかでないが、工事はこの様に進捗している。フェンスの中を窺うことはできないが、基礎部分の土工事が中心とみられる。

冒頭写真の開削（掘割）部分にはリニア本線と車両基地への引き込み線が設置され、それが手前方面へ伸びてくるイメージとなる。右写真（上）の右手一段高いところにある民家の辺りがちょうど開削部分となり、移転されて工事現場となった。以前は静かな田園地帯の趣のある一帯であったが、フェンスでいくつかの区画割りができ、そのフェンスに挟まれて残されている既存道路（生活道路）が辛うじて通行できる慌ただしい有様となっている。

開削工事と併せ高架橋の基礎工事も進められているようにみえた。県道410号線の西側は住居の多い地区で、住宅が解体されて基礎のみとなっているところもあるが、今のところ大規模な工事は始まっていない。

2. 車両基地予定地へ

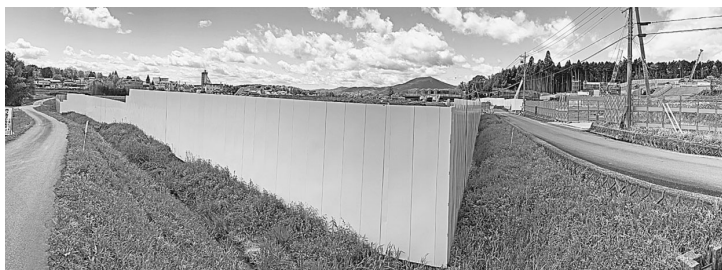
リニア駅建設現場から少し離れ、右上写真の一段高いところへ上がって中津川市中心部へ向かう方向に中部車両基地の工事現場がある。フェンスに沿って車で走ると1km近くあろうかという広大な敷地（約60ha）。

敷地は原野もしくは耕作放棄地かという印象であったが、地図によるとこの辺りには「農業試験場」の表示がある。ここは岐阜県中山間地農業研究所（本所：岐阜県飛騨市）の中津川支所が置かれていたが、リニア車両基地の設置に伴い、市内福岡に2018年3月に移転・開所した。圃場だけで約15haの規模であるという（同所HP）。

車両基地現場は、昨年10月15日から造成工事が開始され、土工事が進められている。



JR美乃坂本駅方面から見た、岐阜県駅予定地



岐阜県駅予定地（中津川市千旦林地区）
（上）平成29（2017）年7月
（下）令和4（2022）年4月



車両基地工事現場

3. 岐阜県内のリニア関連事業

岐阜県駅周辺のリニア・同関連事業の概要は下概略図の通りとなっている。

■駅周辺整備（市）

中津川市の事業で、土地区画整理の手法によることとなっている。約21.8haの規模。本年1月21日安全祈願祭が挙行された。事業スケジュールによると、公園、広場等公共施設の工事は令和5年開始の予定。一部街区道路等の整備が進められ、以前通った道路が通行できなくなっていた。

■濃飛横断自動車道路（県）

岐阜県はリニア駅地域と県内、特に飛騨地方とのアクセス確保が重要課題と認識して、高規格道路の整備が計画される。中央自動車道から分岐し、リニア駅周辺でインターチェンジにより駅方面からの交通と結節、木曾川左岸までのルートが発表されている。今年度から工事が本格化すると見込まれる。

■東濃東部都市間連絡道路他（市）

リニア駅周辺から東濃地域の中津川市中心部や恵那市方面との円滑な通行を図り、現道改良や新設道路を設置する。訪問時には同道路の一部区間の工事が始まっており、土工事がある程度進んで形が見えている箇所があった。

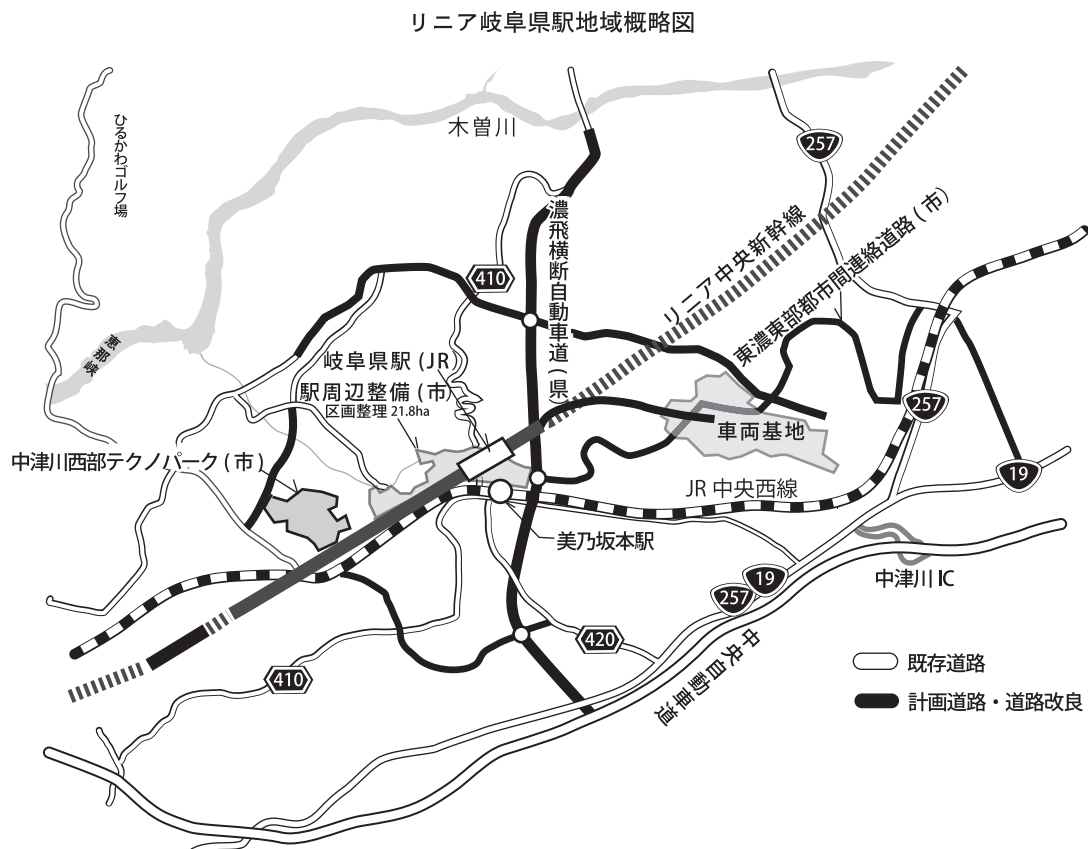
■中津川西部テクノパーク（市）

駅周辺に先端産業の企業集積を図るための用地造成を計画。工事スケジュールでは令和7年度以降の実施とされている。

4. 終わりに

以上、駆け足で現場を訪問した。現地で事業者等から説明を受けてはいないので、あくまでも現場を見た印象で記していることをお断りしておきたい。

リニア長野県駅は本年度、駅予定地域の測量が行われることが発表され、工事の開始に向け徐々に動きが出てきた感がある。当地域は岐阜県駅地域と比べ、移転すべき家屋が圧倒的に多く、移転対象者の皆さまや関係機関の皆さまのご苦労はいかばかりかと推察申し上げる。当地域で駅工事が始まったときは、このようになるというのを実感することができた。長野県駅予定地は、住居・事業所とも密集する区域での工事となるため、地域の理解が一層重要になると思われた。



JR東海、岐阜県、中津川市の説明資料（中津川市HP）をもとに、リニア・三遠南信対策室で作成
（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）